

決算特別委員会 討論要旨 ～令和6年度一般会計歳入歳出決算～



インターネット議会中継の「令和7年決算特別委員会」から、審査の様子が動画で視聴できます。
「令和7年第3回定例会」の「9月30日本会議」からは、委員長報告と討論、議決の動画が視聴できます。

●9月8日 委員長・副委員長の互選

かいでん和弘委員長、橋本しょうへい副委員長が選出されました。

●9月17日～9月25日 議案審査 ()は議案番号

一般会計(第60号)/国民健康保険特別会計(第61号)/後期高齢者医療特別会計(第62号)/介護保険特別会計(第63号)

●9月30日 委員長報告、討論、議決(議決結果は 6面)

本会議で、かいでん和弘委員長が決算特別委員会で審査した経過と結果を報告し、各会派等の代表9人が、決算の認定に対し、賛成・反対の立場で討論を行いました。その後、採決が行われ令和6年度決算が認定されました。



橋本しょうへい 副委員長 かいでん和弘 委員長

反対

物価高の中で区民生活支援を欠いた 決算に反対

日本共産党目黒区議団 松嶋 祐一郎 議員

令和6年度一般会計決算認定に反対する。物価高騰で区民生活が厳しい中、区は基金を積み増しつつ、暮らしや営業の現場への支援は不足した。生活保護の独自加算を行わず、介護や国保料負担も放置した。家賃補助も限定的で、安心して住み続ける仕組みは不十分だ。学校施設更新は必要だが費用は巨額であり、自由が丘や中目黒の大型再

開発はコストの上振れと需要の不確実性もあり凍結を含め見直すべきだ。朝の学童での朝食提供、学用品費無償化も遅れている。学校トイレへの生理用品配備などジェンダー平等施策も進んでいない。今回の豪雨では豪雨対策や災害見舞金の周知も不十分であった。区民の暮らしを第一に据えた運営への転換を強く求める。

賛成

財政の持続可能性は、「未来の課題」ではなく 「現在の課題」

立憲民主・目黒フォーラム 山本 ひろこ 議員

令和6年度は、物価高騰対策や給食費補填、子育て・福祉・教育、防災、DX推進など、区民サービスの充実により区民生活を守る施策が進められた。また基金の積み増しや、財政指標が一定範囲に収まったことも健全な運営努力として評価する。

一方で、令和7年度からは既に財政赤字が見込まれ、特別区債や基金取り崩

しに依存せざるを得ない状況である。施設更新や社会保障費の増加も避けられず、財政の持続可能性は、もはや「将来の課題」ではなく「現在の課題」である。

将来世代に負担を先送りせず、持続可能な財政運営を実現するための「実効性ある取り組み」を進めることを強く要望し、決算に賛成する。

賛成

区民を守る水防態勢の強化と未来のための 行財政運営を

自由民主党目黒区議団・区民の会 高島 なおこ 議員

まずは記録的な豪雨被害で被害に遭われた方に、心よりお見舞い申し上げる。目黒区議会はBCP態勢で被災者支援、被害箇所の原因究明、河川暗渠の水防態勢の強化に全力で取り組む。所管を超えた全庁的な迅速対応を求めるとともに、再発防止に向けた豪雨対策の見直しを要望する。

区税収入が増え、積立基金は1,046

億円に上るなど、目黒区の財政の健全性は堅調に維持されており、評価する。だが区有施設の更新、社会保障費の増大により、今後は厳しさを増す一途である。

次世代に、明るい目黒区の未来を引き継ぐため、限られた財源を効果的に活用し、健全な行財政運営を行うことを要望し、賛成する。

賛成

人的資本を最大活用し、予防とリスク管理に 注力した行財政運営を！

上田 みのり 議員

人的資本であるスペシャリストを最大活用し、「行政がやるべきこと」、「行政にしかできないこと」に集中し、主語のぶれない、区民サービスの量ではない

質的向上をすること、また、防災だけでなく行財政運営も、より一層の危機感を持って取り組むことを強く要望する。

賛成

健全な財政運営で希望ある未来を

めぐろの未来をつくる会(無所属・国民・維新) 上田 あや 議員

本決算審査では財政健全化と生活向上を柱に、多面的に検証した。

総括においては、バックカスティングの導入を踏まえ、基金積み立てや契約事務の改善を求めた。

歳入においては財調交付金の都区配分見直しを指摘した。

その他、介護人材確保、駒場国有地活用、ヤングケアラー支援、部活動の

地域移行、別居親の学校行事への参加、不登校支援、さんまバス活用、防犯カメラ整備、学童保育クラブの安全性向上、緊急医療救護所の整備、住区住民会議への補助金等を取り上げた。

介護保険会計においては基金処理や在宅支援の強化を求めた。

以上の事項を来年度予算と運営に反映することを期待し、賛成する。

賛成

何があっても心配しなくていい！ 誰もが安全で心地よいめぐろへ

こいで まあり 議員

使わなかった予算「不用額」が3.7%と過去5年で最低水準となり評価する。積立基金総額は1,000億円を超え、特別区債は100億円を切った。財務体質向上を好機と捉え、良い人材を確保し維

持するための投資の強化や、雨水を通す「透水性アスファルト」の更なる活用による都市水害対策など、積極財政で安心・快適な地域環境の構築を望む。

賛成

令和6年度決算に賛成

白川 愛 議員

財務情報システム刷新や子育て支援の成果は評価する。一方、都立児相誘致での区の関与不足、契約事務や職員リテラシー向上、データ利活用、新たな地域課題対応や公共施設運営の指定管

理者依存には課題がある。今後はリスク管理強化、区民・利用者の声の丁寧な聴取、投票環境整備、公共施設長寿命化、災害対応支援の強化を求める。

賛成

区民の声を力に、安心・安全・命を守る未来を 切り拓け！

公明党目黒区議団 はま よう子 議員

災害の激甚化、物価高騰、気候変動など、区民は多くの不安に直面している。区は、地域防災力強化、孤独・孤立を防ぐ見守り体制の充実、部署横断的な連携を図りながら、区民に寄り添った切れ目のない支援に取り組むことを要望する。介護・福祉・保育現場等への物価高騰対策など、前進が見られる点は評価できる。今後は、区民の声を丁寧

に聞き取り、現場の実情に即した施策とするとともに、集中豪雨への抜本的対策、安定財源の確保、将来を見据えた投資と事業効果の検証を進めるべきである。さらに、戦後80年の節目として平和継承事業を実効性あるものへ発展させる必要がある。誰一人取り残さない目黒の実現に全力を尽くすことを強く要望し、本決算に賛成する。

賛成

地域人材を生かし、 人と人とのつながりを大切にするまちへ

増茂 しのぶ 議員

高齢者と若者の交流を生む異世代ホームシェアや住宅支援を進め、地域人材を生かすまちづくりを推進せよ。樹木や公園整備への予算を増やし、緑豊かな環境を整えよ。教育面ではエデュ

ケーション・アシスタントの丁寧なマツチングと研修で学級担任の負担を軽減せよ。高校受験での合理的配慮は生徒・保護者へ確実に情報提供せよ。